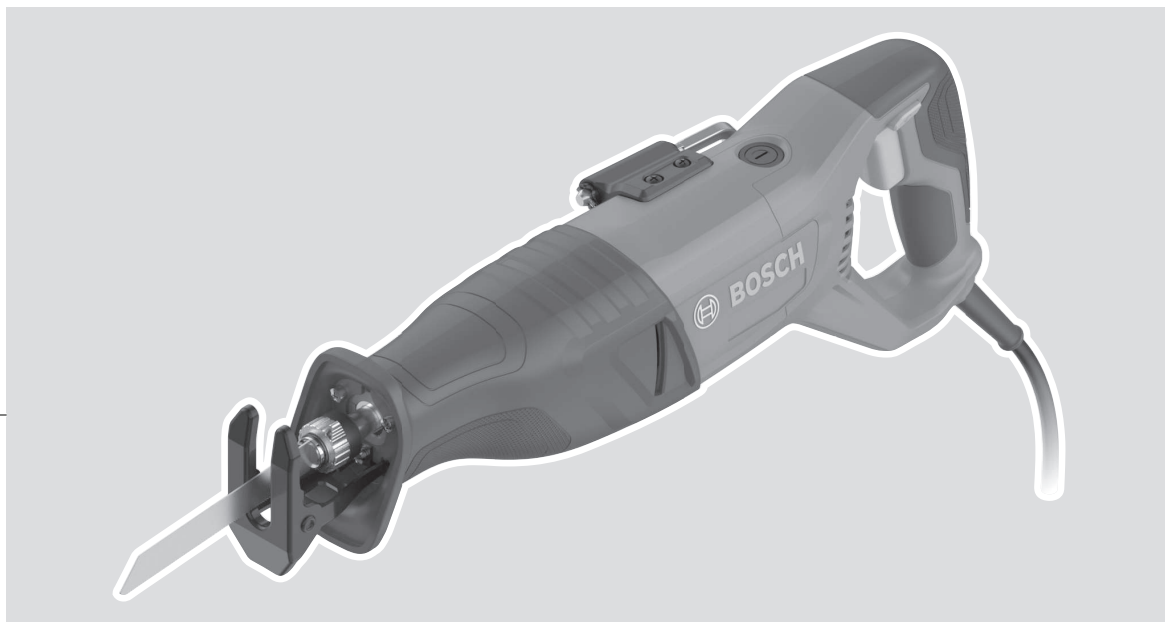




GSA 12-30



取扱説明書

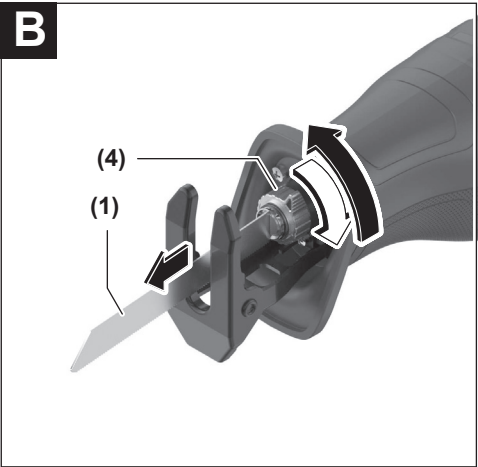
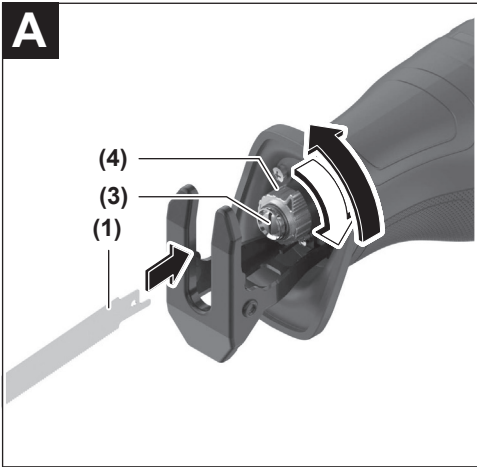
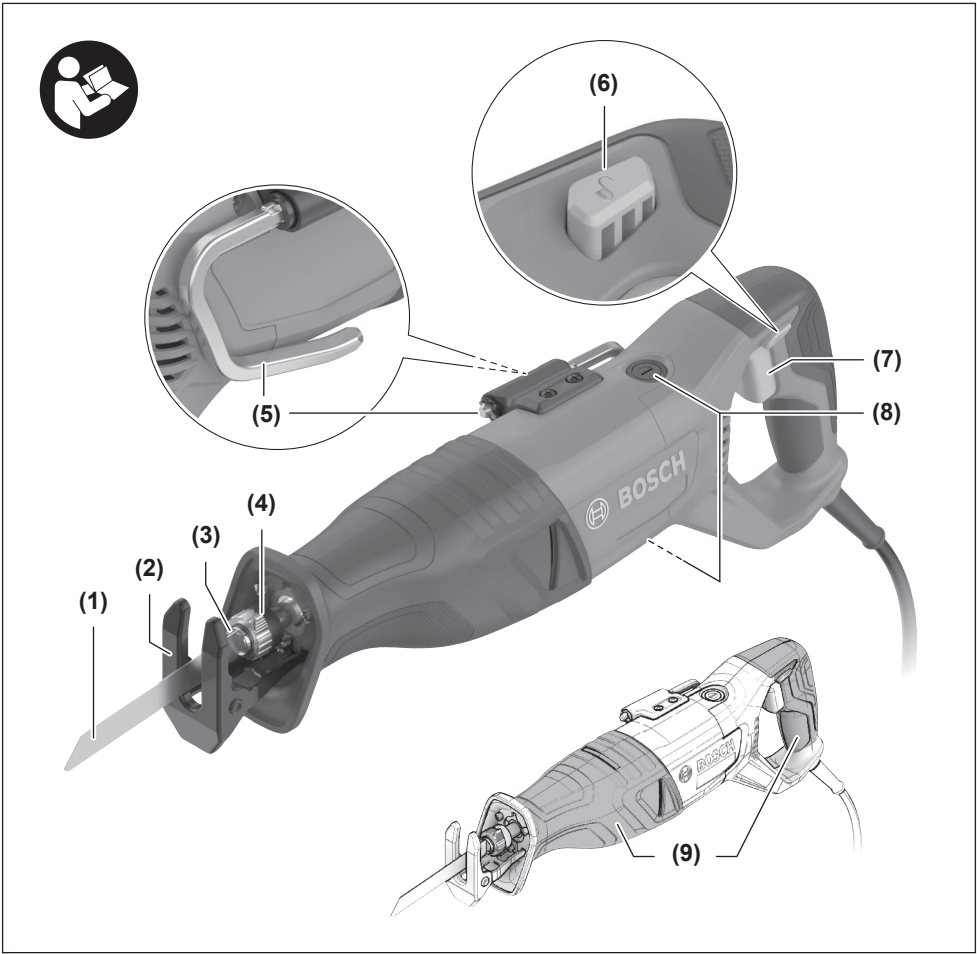
このたびは、弊社セーバーソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

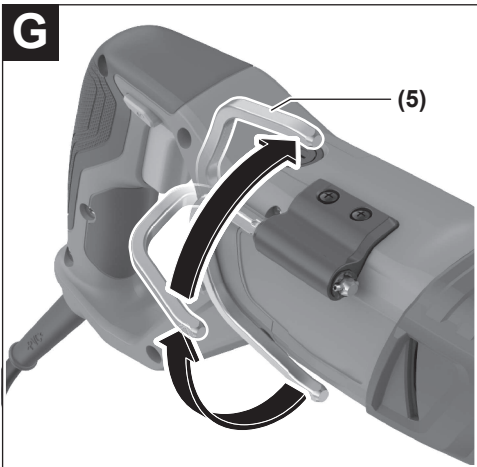
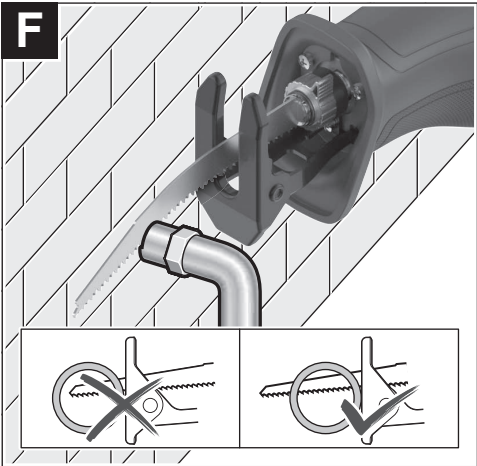
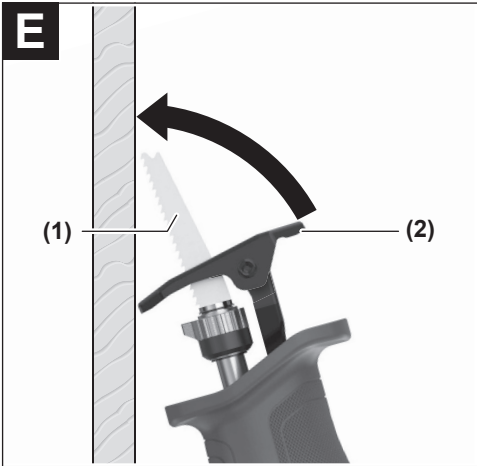
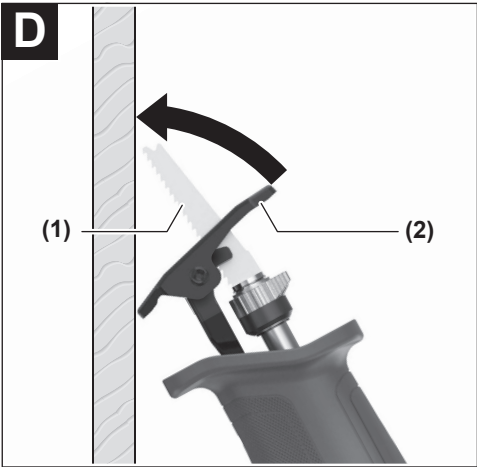
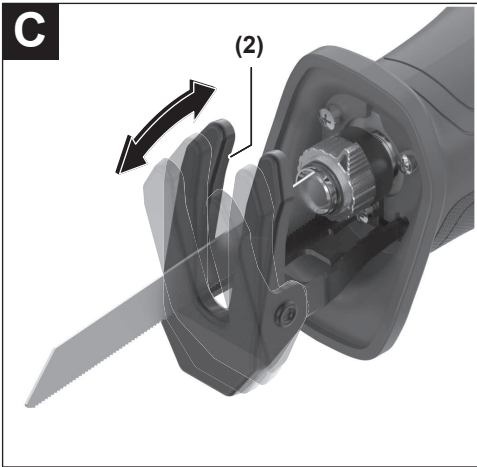
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



目次

用途	5
記号について	5
警告表示の区分	5
安全規則.....	5
一般的な電動工具の安全に関する警告	5
往復動のこぎりの安全性に関する警告	7
安全上のご注意.....	7
コード式電動工具全般についての注意事項	7
セーバーソーについての注意事項	10
本製品について	11
各部の名称	11
仕様	11
使い方	11
作業前の準備をする	11
作業する	13
ポケット切断する.....	14
際切りをする.....	14
お手入れと保管	15
クリーニング	15
保管	15
廃棄について	15
困ったときは.....	15
故障かな?と思ったら	15
修理を依頼するときは	16
保証サービスについて	16





用途

- ◆ しっかり固定された木材・プラスチック・金属・建材の切断
- ☞ 直線の切断に適しています。
- ☞ 適切なバイメタルのセーバーソーブレードを使用すると、際切りが可能です。
- ☞ セーバーソーブレードの推奨事項を順守してください。

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。
記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)
	交流
	クラスⅡ電動工具
	移動方向
	反応方向

	許可される行為
	禁止行為

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠ 危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

⚠ 警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般的な電動工具の安全に関する警告

⚠ 警告

電動工具とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。
次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。
必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。
次に示す全ての警告における“電動工具”という用語は、電源式 (コード付き) 電動工具ま

たは、電池式（コードレス）電動工具を示す。

**a) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
【作業場】**

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。電動工具から発生する火花は、粉じんまたは蒸気（ヒューム）を発火させることがあります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

**b) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
【電気的安全性】**

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動工具を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動工具を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動工具を戸外で用いる場合は、戸外の使用に適した延長コードを使用してください。戸外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器（RCD）によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器（RCD）を使用することで、

感電のリスクは低減されます。

**c) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
【人的安全性】**

- 1) 電動工具の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動工具の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。電動工具の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。
- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動工具を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動工具の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの（余裕のある）衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ（余裕のある）の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがありま

す。

**d) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
[電動工具の使用および手入れ]**

- 1) 電動工具に過剰な負荷を加えて使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。適切に電動工具を使用することによって、より効率よく、安全に作業することができます。
- 2) スイッチで始動および停止ができなくなった電動工具は、使用せず修理してください。スイッチで制御できない電動工具を使用すると事故の原因となる恐れがあります。
- 3) 調整を行ったり、附属品を交換したり、または電動工具を保管したりする前に、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。バッテリーを使用するものは、電動工具からバッテリーを取り外してください。そうすることによって、電動工具を誤って始動させるリスクを軽減することができます。
- 4) 使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具またはその指示に不慣れな者には電動工具を使用させないでください。電動工具を扱い慣れていない者が使用すると事故の恐れがあります。
- 5) 電動工具および附属品を適切に保守してください。電動工具の動作に影響する恐れのある可動部分の芯ずれまたは結合、部品の破損およびその他の状態を点検し、異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が十分でないことが、多くの事故の原因となっています。
- 6) 先端工具は、鋭利、かつ、清潔に保ってください。先端工具を適切に手入れして鋭利に保つことで、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
- 7) 電動工具、附属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動工具に合うように使用してください。意図された作業と異なる作業に電動工具を用いる場合、危険な状況になる恐れがあります。
- 8) ハンドルおよび保持面に、オイルまたはグリースを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱い

または制御を妨げる恐れがあります。

**e) 一般的な電動工具の安全性に関する警告
[修理]**

電動工具は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。
これによって、電動工具の安全性を維持することができます。

往復動のこぎりの安全性に関する警告

⚠警告

- a) 隠れた配線または自らの電源コードに、のこぎり刃が接触する恐れのある作業をするときは、絶縁ハンドルを保持してください。電動工具の金属部を保持した状態で、のこぎり刃が通電した配線に接触すると、感電する恐れがあります。
- b) 加工物を、安定した作業台に固定し、支持するために、クランプまたは他の実用的な固定方法を使用してください。加工物を、手で持ったり、体で固定すると、加工物が不安定になり、制御不能になることがあります。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みにになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠警告

- 作業に合った電動工具を使用してください。
- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないで

- ください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
 - この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
 - 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
 - ◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。
 - やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
 - 延長コードは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
 - 必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
 - アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)
 - 屋外使用に合った延長コードを使用してください。また、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 - 感電に注意してください。
 - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
 - 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
 - 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。
- そのまま、使用すると発煙・発火、感電、け

がに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。など

- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。

- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。

- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

- 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。

- きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。
- 作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に電動工具の後方に離してご使用ください。
- ◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 無理して使用しないでください。
- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
- ◆ 爆発の恐れがあります。
- コードは、定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 損傷した部品がないか点検してください。
- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してく

ださい。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- **安全上のご注意は、必ず守ってください。**
- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- **電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく、事故やけがの原因となります。
- **この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使わないでください。**
- ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

⚠注意

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
- ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
- ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

セーバーソーについての注意事項

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、セーバーソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

⚠警告

- **作業中に振り回されないよう、電動工具**

を確実に保持して作業してください。

- ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- **作業中は、先端工具や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。**
- ◆ 近づけると、けがの原因になります。

⚠注意

- **曲がったり、磨耗したりしたセーバーソーブレードは使用しないでください。**
- ◆ セーバーソーブレードが破損したり、キックバックが発生したりする危険があります。
- **スイッチを“入”にしてからセーバーソーブレードを材料に当ててください。**
- ◆ 材料に当ててからスイッチを“入”にすると、キックバックの危険があります。
- **LEDライト点灯中に、LEDライトを直接のぞき込まないでください。**
- ◆ 一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。
- **作業中は常にベースプレートを材料に押し当ててください。**
- ◆ 押し当てていないと、セーバーソーブレードがかみ込み、電動工具のコントロールを失う恐れがあります。
- **作業が終わったらスイッチを“切”にし、セーバーソーブレードが完全に停止するまで待ってから、電動工具を材料から離してください。**
- ◆ このようにしないと、キックバックが発生する危険があります。
- **スイッチを切った後、セーバーソーブレードの側面を押さえて止めないでください。**
- ◆ セーバーソーブレードが破損・破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。
- **作業直後の先端工具や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。**
- ◆ やけどの原因になります。
- **電動工具を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- ◆ 事故の原因になります。
- **セーバーソーブレードの交換は、手袋やウ**

エスなどで手を保護してから行ってください。

- ◆手を保護しないとけがの原因になります。
- セーバーソーブレードは、不用意に触れると危険です。作業時以外でも十分注意してください。
- ◆不用意に触れると、けがの原因になります。
- 先端工具や先端工具取り付け部の切り粉などを、拭き取ってください。
- ◆切り粉などが付着していると、先端工具が外れたりして、けがの原因になります。

本製品について

各部の名称

- (1)セーバーソーブレード*1
- (2)ベースプレート
- (3)ブレードホルダー
- (4)ロックスリーブ
- (5)フック
- (6)メインスイッチのロック解除スイッチ
- (7)メインスイッチ
- (8)カーボンブラシ用キャップ
- (9)ハンドル(絶縁グリップ面)

*1 別売品

仕様

本体

モデル名	GSA 12-30
型番	GSA 12-30
定格電圧	A.C.100V、 50-60Hz
消費電力(入力)	1,100W
ストローク数 (無負荷時)	0~3,000min ⁻¹ (回/分)
ストローク幅	30mm
ツールホルダー	SDS
最大切断能力	
木材	230mm
パイプ	150mm
軟鋼板	20mm
質量*2*3	3.7kg
感電保護クラス	回/II
原産国	中国

*2 EPTA プロシージャー01/2014に準拠

*3 電源接続ケーブルおよび電源プラグを除いた質量

☞ 値は使用する工具の用途や環境条件により異なります。詳細についてはこちらをご覧ください。

www.bosch-professional.com/wac

使い方

作業前の準備をする

⚠警告

- ◆不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使用電源を点検する

- 単相A.C.100V、50-60Hzか?
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか?
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか?

セーバーソーブレードを選ぶ

材料の材質と厚みに合ったセーバーソーブレード(1)を選んでください。

木材・プラスチックの切断

……………木工用のセーバーソーブレード

金属などの切断

……………金工用のセーバーソーブレード

☞ きつい曲線を切断する場合は、曲線切断用のセーバーソーブレード(1)を使用してください。

☞ 切断しようとする材料より必要以上に長いセーバーソーブレード(1)を使用しないでください。

☞ 切削オイルスプレー(市販品)などを使用すると、セーバーソーブレード(1)が長持ちします。

セーバーソーブレードを取り付ける・取り外す

△注意

- ◆ セーバーソーブレード(1)は刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ セーバーソーブレード(1)を取り付けたり取り外したりするときは、ブレードホルダー(3)やロックスリーブ(4)に切り粉などが残っていないことを確認してください。残っているときは、拭き取ってください。

セーバーソーブレード(1)を点検する

- セーバーソーブレードが曲がっていないか？
- セーバーソーブレードの歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？
- セーバーソーブレードは、材料の径より長いのか？

取り付け

(イラストA参照)

- ☞ セーバーソーブレード(1)は、刃を上下どちらの方向にしても取り付けられます。
 - ☞ 刃がベースプレート(2)や材料 (特にパイプ) より先に出ない短いセーバーソーブレード(1)や、曲がったセーバーソーブレード(1)は使用しないでください。短すぎたり、曲がったセーバーソーブレード(1)は、セーバーソーブレード(1)の先端がベースプレート(2)や材料に引っかかり、刃が折れることがあります。
1. ブレードホルダー(3)に切り粉などが付着していないか確認します。付着しているときは、拭き取ってください。
 2. ロックスリーブ(4)を反時計方向 (黒い矢印の方向) に止まるまで回して保持します。
 3. セーバーソーブレード(1)をブレードホルダー(3)に、“カチツ”と音がするまでしっかり差し込みます。
 4. ロックスリーブ(4)を離します。ロックスリーブ(4)を離すと、セーバーソーブレード(1)が固定されます。
 5. セーバーソーブレード(1)を手で引っぱり、確実に取り付けられていることを確認します。

△注意

- ◆ 緩んでいると、作業中にセーバーソーブレード(1)が抜けて、けがをする恐れがあります。確実に取り付けられていることを確認してください。

取り外し

(イラストB参照)

△注意

- ◆ 作業直後のセーバーソーブレード(1)は高温になります。冷めてから、セーバーソーブレード(1)を取り外してください。
1. ロックスリーブ(4)を反時計方向 (黒い矢印の方向) に止まるまで回して保持します。
 2. セーバーソーブレード(1)を引き抜きます。
 3. ロックスリーブ(4)を離します。

ベースプレートの角度を調節する

(イラストC参照)

本体をしっかり保持し、ベースプレート(2)を傾けて角度を調節します。

ベースプレート(2)が切断材料の表面と接するように調節してください。

☞ ベースプレート(2)の角度は固定できません。

フックを使用する

(イラストG参照)

フック(5)を使用すると、はしごなどに本体を吊ることができます。

使用するときは、フック(5)を矢印の方向に開いてください。

△注意

- ◆ 本体を吊るすときは、誤ってセーバーソーブレード(1)に触れないように注意してください。けがの原因になります。
- ◆ 作業するときは、必ずフック(5)を折りたたんでください。

作業する

⚠警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。

⚠注意

- ◆ 作業を始める前に、材料に釘やネジなどが入っていないか確認し、適切なセーバーソーブレード(1)を使用してください。必要に応じて、釘やネジなどを取り除いてください。
- ◆ 軽量材料を切断するときは、材料メーカーの警告指示を順守し、推奨事項を考慮してください。
- ◆ 本体がひどく汚れると、重大な故障につながる可能性があります。このため、発じんの多い材料を下方や頭上から切断しないでください。

[1] セーバーソーブレード(1)を点検する

- セーバーソーブレードが曲がっていないか？
- セーバーソーブレードの歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？
- セーバーソーブレードは、材料の径より長いのか？

[2] 電源プラグを電源コンセントに差し込む

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、メインスイッチ(7)がロックされていることを確認してください。
- ◆ 必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。

[3] メインスイッチ(7)のロックを解除する

メインスイッチロック解除スイッチ(6)の右側(本体を後ろ側から見て)を押し込みます。

[4] メインスイッチ(7)を操作する

スイッチの入/切

入: メインスイッチ(7)を引き込み続けます。

切: メインスイッチ(7)から指を離します。

- ☞ メインスイッチ(7)は、“入”の状態で固定されません。引き込み続けてください。

ストローク数(回転スピード)の調節

メインスイッチ(7)を引き込む加減で、ストローク数(回転スピード)が調節できます。

ストローク数を調節することにより、材料に、より適した切断が可能になります。

軽く引く……低ストローク数
強く引く……高ストローク数

- ☞ 最適なストローク数は、材料や作業条件によって異なります。
試し作業などをし、最適なストローク数で作業してください。
- ☞ プラスチックやアルミニウムを切断するときは、ストローク数を低めにし、焼きつきを防止してください。
- ☞ ストローク数を低めにすると、より正確にセーバーソーブレード(1)を切断箇所に対することができます。

[5] 切断する

メインスイッチ(7)を“入”にして、回転が十分に上がってから切断を始めてください。
切り始めは、セーバーソーブレード(1)をゆっくり材料に押しつけてください。

⚠警告

- ◆ 使用中は、本体を確実に保持してください。

⚠注意

- ◆ 作業時、本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、セーバーソーブレード(1)を傷めて作業効率が下がったり、本体が故障したりします。
- ☞ 作業中は、ベースプレート(2)を材料にしっかりと押しつけてください。
- ☞ 適切な切断スピードで作業してください。
- ☞ セーバーソーブレード(1)が材料に挟み込まれたときは、直ちにメインスイッチ(7)から指を離して“切”にしてください。
メインスイッチロック解除スイッチ(6)の左側(本体を後ろ側から見て)を押し込んで、メインスイッチ(7)をロックし、電源プラグを抜いてください。
適切なツールを使用して隙間をわずかに広げ、セーバーソーブレード(1)を引き出してください。
- ☞ 金属を切断する場合、切削オイルスプレー(市販品)を使用すると、スムーズで早い切断作業ができるとともに、セーバーソーブレード(1)の寿命が延びます。
- ☞ 低ストローク数で長時間切断作業すると、本体が高温になります。本体が高温になっ

たときは、セーバーソーブレード(1)を取り外し、最高ストローク数で約3分間無負荷回転させ、本体を冷ましてください。

[6] 切断を終了する

メインスイッチ(7)から指を離して“切”にします。

△注意

- ◆ セーバーソーブレード(1)の動きが完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。
- ◆ メインスイッチ(7)から指を離れたあと、セーバーソーブレード(1)の動きを無理に止めるようなことはしないでください。また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。

[7] メインスイッチ(7)をロックする

メインスイッチロック解除スイッチ(6)の左側(本体を後ろ側から見て)を押し込みます。

△注意

- ◆ 使用しないときは、必ずメインスイッチ(7)をロックしてください。

ポケット切断する

(イラストD・E参照)

△警告

- ◆ ポケット切断をするときは、「切断する」の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから作業を行ってください。
 - ☞ ポケット切断は、木材など軟らかい材料の中抜きができます。
 - ☞ 分厚い材料や金属のような硬い材料では、ポケット切断を行わないでください。このような材料は、材料の端から切断するか、セーバーソーブレード(1)に合った大きさの貫通穴から切断を始めてください。
 - ☞ ポケット切断は、短いセーバーソーブレード(1)を使用してください。長いセーバーソーブレード(1)を使用すると、ベースプレート(2)が材料に当たらず、本体をしっかり保持できません。
 - ☞ 特定の場、セーバーソーブレード(1)を180°回転させて取り付け、作業することもできます。
1. 材料を確実に固定します。

2. セーバーソーブレード(1)が確実に取り付けられているか確認します。
3. セーバーソーブレード(1)の先端が切断線の上にくるようにベースプレート(2)の後端部を材料に当て、本体を設置します。
- ☞ セーバーソーブレード(1)は、まだ材料に当てないでください。
4. メインスイッチロック解除スイッチ(6)の右側(本体を後ろ側から見て)を押し込み、メインスイッチ(7)のロックを解除します。
5. メインスイッチ(7)をいっぱいまで引き込みます。
6. 本体を確実に保持し、ベースプレート(2)の後端部を支点に、本体をゆっくりと押し込みます。
- ☞ 支点(ベースプレート(2)の後端部)が、材料から離れないよう、しっかりと固定してください。
- ☞ 切断を急がず、ゆっくりセーバーソーブレード(1)を押し下げてください。
7. ベースプレート(2)の全面が材料に接したら、切断線に沿って切断を続けます。
8. 切断が終わったらメインスイッチ(7)から指を離して“切”にします。
9. セーバーソーブレード(1)が完全に止まったら、本体を材料から離します。
10. メインスイッチロック解除スイッチ(6)の左側(本体を後ろ側から見て)を押し込み、メインスイッチ(7)をロックします。

際切りをする

(イラストF参照)

柔軟性のあるバイメタルセーバーソーブレードを使用すると、水道管などの突出部品を壁面で切断することができます。

△警告

- ◆ 際切りをするときは、「切断する」の警告・注意文および操作方法をよく読み、内容を理解してから作業を行ってください。
1. セーバーソーブレード(1)が、切断する材料の直径より長いことを確認します。
 2. セーバーソーブレード(1)が確実に取り付けられているか確認します。
 3. セーバーソーブレード(1)の側面を壁面に当て、ベースプレート(2)を壁面に向けるようにして、セーバーソーブレード(1)をしならせします。

- ✎ イラストのようにセーバーソーブレード(1)と壁面が平行になるようにしならせてください。
- ✎ セーバーソーブレード(1)は、まだ材料に当てないでください。
- 4. メインスイッチロック解除スイッチ(6)の右側(本体を後ろ側から見て)を押し込んで、メインスイッチ(7)のロックを解除します。
- 5. メインスイッチ(7)をいっぱいまで引き込みます。
- 6. 本体を確実に保持し、セーバーソーブレード(1)をしなせられた状態で材料を切断します。

⚠注意

- ◆ セーバーソーブレード(1)の先端が常に材料より先に出るようにしてください。出ていないと、キックバックの危険があります。
- 7. 切断が終わったらメインスイッチ(7)から指を離します。
- 8. メインスイッチロック解除スイッチ(6)の左側(本体を後ろ側から見て)を押し込んで、メインスイッチ(7)をロックします。

お手入れと保管

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お手入れしてください。

クリーニング

⚠注意

- ◆ クリーニングするときは、セーバーソーブレード(1)を取り外してください。
- ◆ 本体に切り粉やホコリがたまると、故障の原因になります。適時、クリーニングしてください。

通風口などに付いた切り粉、ホコリを吹き飛ばす

セーバーソーブレード取り付け部に付いた切り粉、ホコリを吹き飛ばし、柔らかい布で慎重に掃除する

- ✎ 掃除後、適切な潤滑剤をセーバーソーブレード取り付け部に塗布し、動作可能な状態を保ってください。

態を保ってください。

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

- ✎ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

保管

使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

廃棄について

本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

メインスイッチ(7)を“入”にしても作動しない

原因	対処
電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
電源コードが断線している	ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼する

メインスイッチ(7)が引き込めない

原因	対処
メインスイッチロック解除スイッチ(6)がロックの位置になっている	メインスイッチロック解除スイッチ(6)を解除の位置にする

切断に時間がかかる

原因	対処
セーバーソーブレード(1)が摩耗している	セーバーソーブレード(1)を研磨するか、交換する
使用電源の電圧が低い	100Vの電源を使う

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール
0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

ボッシュ株式会社ホームページ
<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター
〒355-0813
埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4
TEL 0493-56-5030
FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本
〒811-0104
福岡県糟屋郡新宮町の野741-1
TEL 092-963-3486
FAX 092-963-3407

保証サービスについて**プロ用電動工具・メジャーリンググ
ツール保証サービス『PRO360』の
ご案内**

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をいただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>

**ボッシュ株式会社 電動工具事業部**ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>

〒224-0003

神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目9-32

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

1 609 92A 9YJ (2024.07)**1 609 92A 9YJ**

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカatalog請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。